

令和2年度 鯨城会 運営方針

地域に貢献する活動で、鯨城会の存在感を高める！

令和2年度の鯨城会はコロナ禍に巻き込まれ施設使用やイベントの禁止もあって、3月中旬から6月までは会の活動ができませんでした。この7月に入り、ようやく会の活動が動き出しました。しかし会の運営では学園への入学者数の減少や入会率の減、退会者の増加など会員数の減少があり、さらに会議・行事におけるコロナ感染対策などの課題は多くあります。

4月からの新しい代議員会（区会長）ならびに幹事会が選出されました。しかし各区会においても活動には大きく制約があり運営に苦慮しているのが現実です。このような状況でも代議員ならびに幹事は一丸となって会の目的に掲げる親睦・地域貢献・学園への寄与に、できることから一步踏みだしコロナに負けない気持ちをもって邁進します。

会の目的

- ① 会員相互の親睦をはかり、教養を高める
- ② 地域社会の貢献としてボランティア活動の実践
- ③ 学園の発展に寄与する

しかし感染拡大がどうなるかは全く不透明で、区の作品展や旅行なども中止になったところも多くあります。鯨城会での行事の実施できるか否かもわからず親睦の機会も難しい現実は残念です。

今年はできる限り、新しいやり方を模索しながら地域貢献できるボランティア活動をしっかり行い、鯨城会の存在感を確保してゆきます。

行事・会議を行うさいは健康・安全に重点をおいて行います。会員の皆様も日頃の生活に留意しながら、明るく楽しく元気よく活動に参加下さいますお願いします。